

令和7年度子どものまちづくりイベント
Mini Mini Midori～『GREEN×EXPO 2027』に向けて～

実施報告書



横浜市緑区区政推進課

I.事業概要	
事業全体概要	3
II.実行委員募集	
募集概要	4
III.実施実績	
準備期間	5
イベント当日	6
IV.子ども実行委員会記録	
第1回	7
第2回（企業見学会）	8～9
第3回	10～11
第4回	12
第5回	12
イベント当日	13
V.イベント当日	
スケジュール	14～15
基本事項	16
各種概要	17～25
企業ブース	26～27
全体写真	28～34
VI.製作物	
当日配布パンフレット	35
各種印刷物・サイン	36～38
VII.アンケート	
大人アンケート結果	39～42
子どもアンケート結果	43～44
VIII.緊急時対応	
緊急時連絡先・指示系統	45
避難誘導に関する基本要領	46
避難経路	47

- ☐ **事業名称** 令和7年度 子どものまちづくりイベント
「Mini Mini Midori～『GREEN×EXPO 2027』に向けて～」
- ☐ **事業目的** 子ども実行委員を中心に、「子どものまち」を考え、そのまちをイベント開催日に出現させる。
「まち」を構想する実行委員とイベントに参加する子どもたちそれぞれが、イベントを通してまちづくりや経済の仕組みを学ぶことができる。
今年度はGREEN×EXPO 2027の開催まで2年を切り、開催への期待感・高揚感を醸成するため、本イベントにGREEN×EXPO 2027の開催趣旨を取り入れて実施することで、自然の大切さを改めて認識し、人と自然が共生した持続可能なまちづくりへの関心を持っていただくことを目的とする。
- ☐ **内容**
- 子ども実行委員のGREEN×EXPO 2027出展予定企業見学
 - 子ども実行委員会の実施
→ 緑区が募集した実行委員(20人程度)の会議実施
 - イベントの実施(子どものまち)
→ 子ども実行委員がリーダーを務めるお店でイベント参加者(子ども/事前申込制)が働いたり、商品の購入やサービスの提供を受け、それに加えてGREEN×EXPO 2027の開催趣旨を体感していただく。
- ☐ **主 催** 横浜市緑区役所区政推進課
- ☐ **運 営** 株式会社セレスポ横浜支店
- ☐ **運営協力** 東洋英和女学院大学
- ☐ **協力・協賛** 株式会社村田製作所
株式会社ミスティックフラワー
桐蔭横浜大学医用工学部石河研究室
株式会社Creative Green
フラワーショップ花市場（十日市場）
ジェーピーエス製薬株式会社
- ☐ **後援** GREEN×EXPO協会（公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会）

Ⅱ. 実行委員募集

□子ども実行委員の募集と委員会の概要

項目	内 容
実行委員参加資格	小学3年生以上中学3年生まで
申込方法	・募集告知：緑区内小中学校への告知、区民利用施設へのちらし配架 ・募集時期：令和7年6月9日～7月6日 ・申込方法：区が指定する電子申請による申込
募集人数	20人程度
活動期間・内容	活動期間：令和7年7月～9月 活動内容：子ども実行委員会への参加・イベント当日はお店の運営 →まちの構想、GREEN×EXPO 2027出展予定企業見学、 GREEN×EXPO 2027の開催趣旨を学ぶ、イベント当日はお店の リーダーとして活躍
子ども実行委員会	開催日：令和7年7月～9月 5回開催 場所：緑区役所会議室 他 参加費：無料 ※交通費が発生する場合は実行委員の自己負担 開催方法：対面

- 応募 54名
- 実行委員決定 21名
- 最終参加者 21名

子どものまちづくりイベント！

Mini Mini Midori

『GREEN×EXPO 2027』に向けて

Mini Mini Midoriは、緑区で年に一度だけ開かれる「子どものまち」まちには学校・銀行・お店があり、子どもたちが店長をつとめるお店には、子どもたちが作った商品が並びます

GREEN×EXPO 2027の開催に向けて、あなたも子ども実行委員になって一緒に地球環境を考え、花や緑にあふれるまちづくりに挑戦しませんか？

実行委員会日程 ★13歳～16歳 ☆9歳～16歳 □14歳～17歳

- ★7月29日(木)：オリエンテーション
- ☆8月 6日(木)：GREEN×EXPO 2027 会場建設の決戦(予定)
- ★8月13日(木)：お店の名称を考える
- ★8月21日(木)：商品作成等 ※目標より高層ビルは建設になる場合があります。
- 8月28日(木)：商品作成等

イベント当日 9月7日(日)：お店の店長として活躍
8時～17時 ※予定している日程のうち都合が立って参加できないことをご理解の上、お申し込みください。

活動内容

- GREEN×EXPO 2027について知る(最優秀の店舗)、見る(最優秀店舗の夜観)の体験
- グリーン社会につながる最前線から子どものまちの商品・サービスを考える
- 子ども実行委員の最前線はイベント当日に最前線で最前線内に最前線のイベント当日は最前線の「店舗」として最前線するとともに、実行委員として最前線して最前線を最前線

応募方法

緑区在住または在学の小学3年生以上中学3年生以下の子ど

20人程度

令和7年6月9日(月)～7月6日(日)まで

無料 ※交通費などの実費は、各自負担

二次元コードより電子申請で申込み

※電子申請の登録メールアドレスは、[このページのトップ欄の緑区の方のメールアドレスをお願いします。](#)

主催 横浜市緑区 区政推進課 企画調整係
問合せ先 横浜市緑区 区政推進課 企画調整係
電話：045-930-2229
MAIL: md-kikaku@city.yokohama.lg.jp

Expo 2027

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬台

申込時の注意事項

- お申込みは表面の二次元コードから、お子さま1人につき1申請をお願いします。
- 申込多数の場合は抽選になります。
- 電子申請では、最後に「申込番号」が出ますので控えてください。なお、受付完了のメールはありません。

1 子どものまちづくりイベントについて

- ①「子どものまちづくりイベント」とは、ドイツのミュンヘンで行われている「ミニ・ミュンヘン」の緑区版としてスタートした「子どもによる、子どものための、子どもだけのまち」です。
- ②「子どものまち」は、子ども主体のまちで、区役所、学校、銀行などのほか、様々なお店が出現し、独自通貨で買い物をすることができます。また、ジョブセンターで仕事を見つけて働き給料をもらったり、まちで買い物やサービスを楽しむことができ、経済の循環を体験することができます。

2 全体について

- ①大人スタッフは運営管理や相談、サポートを行います。基本的には子どもたちが自分の力で考え、商取引、解決することが大切と考えますので、保護者の皆さまには遠く見守っていただければと思います。
- ②活動の様子、市及び区ウェブサイトや広報誌等で紹介します。子ども実行委員の申込時には、お子様の写真、動画(YouTubeを含む)、お子さまが作成した制作物や記録ノート、お名前やあだ名について使用許諾に同意するご同意をいただくことが前提となります。また、子ども実行委員決定後、写真等掲載承諾書をご提出いただきます。
- ③子ども実行委員の決定のご連絡など、以後のご連絡は全てメールとなります。電子申請の登録メールアドレスは、[このページのトップ欄の緑区の方のメールアドレスをお願いします。](#)

『Mini Mini Midori ～『GREEN×EXPO 2027』に向けて～』が目指すもの

緑区の子どもまちづくりイベントは、次世代を担う青少年の育成として令和元年度の区民50周年事業としてスタートし、これまでに多くの子どもたちがまちづくりを体験してきました。令和7年度はこれまでの取組をいかに、『Mini Mini Midori ～『GREEN×EXPO 2027』に向けて～』として、子どもたちとともに持続可能なまちづくりに挑戦します。子どもたちや地域のみなさんに『GREEN×EXPO 2027』への期待感・高層感を抱いていただき、その先のグリーン社会の実現につなげていくイベントを目指します。

「YOKOHAMA GO GREEN」は、2050年の脱炭素社会の実現に向け、市と市民・事業者の協力が一丸となって、脱炭素・環境施策を推進するための会合です

Ⅲ. 実施実績

□ 準備期間

● 運営ミーティング

- ① 4/23 (水) 初回打合せ 及び 東洋英和女学院大学打合せ
- ② 5/28 (水) 東洋英和女学院大学 オリエンテーション (オンライン)

● 子ども実行委員会

回	日時	場所	内容
第1回	7月29日(火) 13:00-16:00	緑区役所会議室	オリエンテーション、まちづくりについての学習、GREEN×EXPO 2027の開催趣旨・取組についての学習他
第2回	8月 8日(金) 09:45-16:30	桐蔭横浜大学 緑区役所会議室	①GREEN×EXPO 2027出展予定企業を見学・ワークショップ ②お店の内容を検討・決定
第3回	8月13日(水) 13:00-16:00	緑区役所会議室	①第1回、2回の振り返り ②メンバーの検討・決定 ③お店ごとに実施内容検討
第4回	8月21日(木) 13:00-16:00	緑区役所会議室	①お店に必要な物品の準備 ②発表の準備
第5回	8月28日(木) 14:00-17:00	緑公会堂会議室	①お店に必要な物品の準備 ②発表の準備
準備	9月 6日(土) 13:00-16:00	緑公会堂	イベント準備 (子ども実行委員は任意)
本番	9月 7日(日) 8:00-17:00	緑公会堂	イベント本番

Ⅲ. 実施実績

□ 9/7（日）イベント当日

● 実行委員 20名

● イベント参加者

午前の部（9：30～12：30） 子ども（参加者） 126名

保護者等 116名

午後の部（13：30～16：30） 子ども（参加者） 122名

保護者等 96名

● 東洋英和女学院大学学生 7名

□ 実施構成

● 主 催：横浜市緑区役所区政推進課

● 運 営：株式会社セレスポ横浜支店

● 運営協力：東洋英和女学院大学（全体運営協力・ワークショップ、展示）

● 協力・協賛：株式会社村田製作所（ワークショップ、展示）

株式会社ミスティックフラワー（企業見学会、展示）

桐蔭横浜大学医用工学部石河研究室（企業見学会）

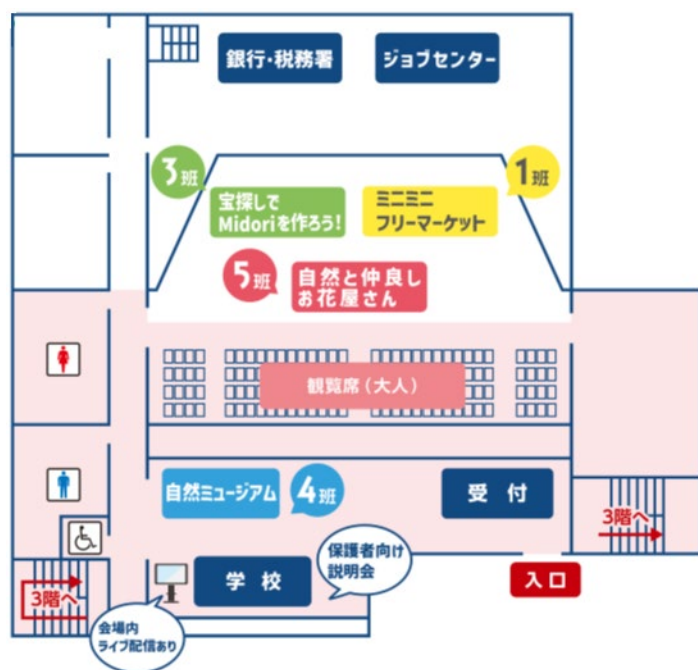
株式会社Creative Green（ロスフラワー®提供）

フラワーショップ花市場（十日市場）（ロスフラワー®提供）

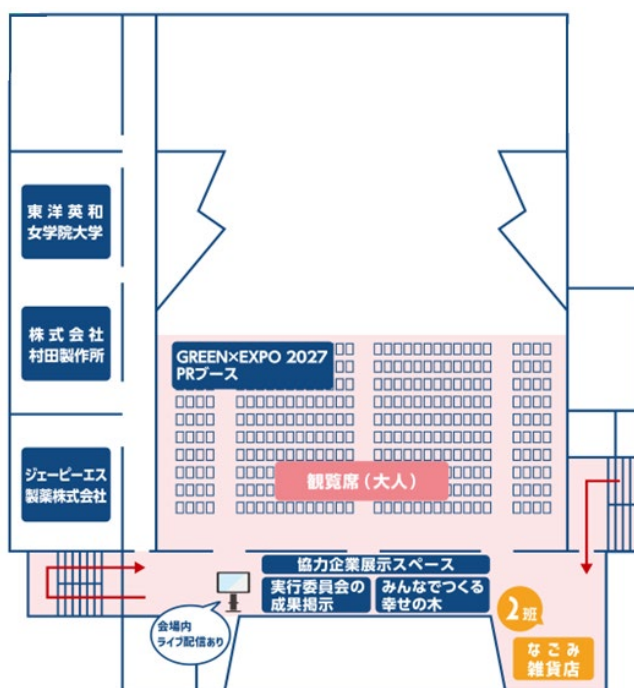
ジェーピーエス製菓株式会社（ワークショップ、展示）

□ 会場配置図

● 2階



● 3階



※ピンクの網掛け部分のみ、大人通行可

Ⅳ. 子ども実行委員会記録

【第1回子ども実行委員会 7月29日（火） 13:00～16:00 @緑区役所会議室】

■参加者

- 子ども実行委員：19名
- 東洋英和女学院大学学生：3名
- 東洋英和女学院大学教員：2名
- 緑区役所区政推進課：4名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：10名

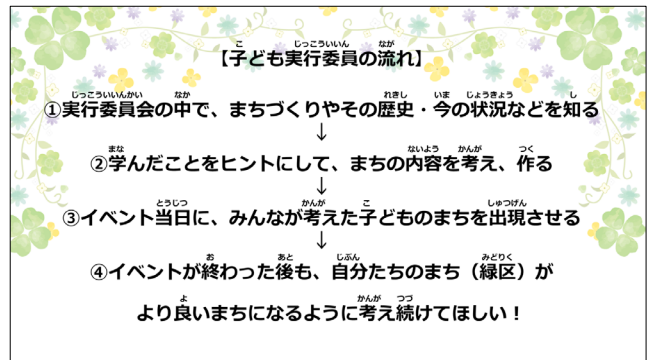
■内容

1. 開会あいさつ
2. スタッフ・東洋英和女学院大学自己紹介
3. 実行委員自己紹介
4. 導入レクチャー① 目指すゴールの共有
5. 導入レクチャー② まちづくりとは
6. グループワーク
↳ 実行委員が考える「人と自然が仲良く暮らせるまち」を発表
7. 宿題の説明（自然と関連したお仕事を考える）

■投影や資料配布



1. みんなのゴール。
2. すすめかた。
3. チャレンジしてほしいこと。



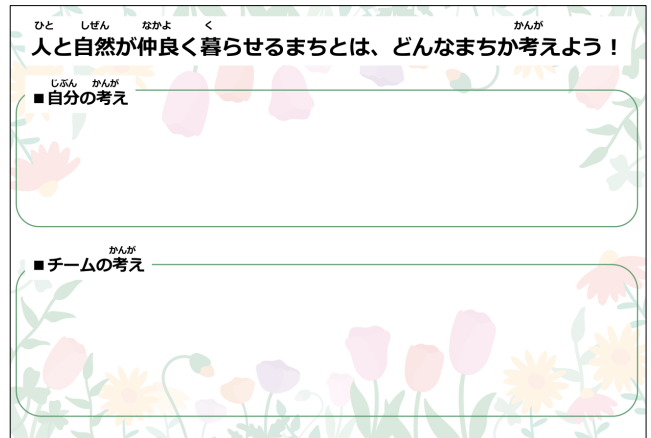
【子ども実行委員の流れ】

- ① 実行委員会の中で、まちづくりやその歴史・今の状況などを知る
- ↓
- ② 学んだことをヒントにして、まちの内容を考え、作る
- ↓
- ③ イベント当日に、みんなが考えた子どものまちを出現させる
- ↓
- ④ イベントが終わった後も、自分たちのまち（緑区）がより良いまちになるように考え続けてほしい！



自然がある幸せなまちってどんなまち？

- 公園でたくさん遊べるまち
- みんなが笑顔で過ごせるまち！
- 新鮮な野菜が育つまち
- 鳥の音が聞こえるまち
- きれいな川で魚が泳ぐまち



人と自然が仲良く暮らせるまちとは、どんなまちか考えよう！

■自分の考え

■チームの考え

Ⅳ. 子ども実行委員会記録

【第2回子ども実行委員会 8月8日（金）9：45～16：30 企業見学会】

■参加者

- 子ども実行委員：18名
- 株式会社ミスティックフラワー：1名
- 桐蔭横浜大学医用工学部石河研究室教員：1名
- 桐蔭横浜大学医用工学部石河研究室学生：2名
- 東洋英和女学院大学学生：7名
- 東洋英和女学院大学教員：2名
- 緑区役所区政推進課：4名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：9名

■内容

1. 見学会（桐蔭横浜大学）
 - └ミスティックフラワーについて
 - └超音波体験
 - └ロスフラワー[®]を使用したミニブーケづくり体験
 - └GREEN×EXPO 2027の会場整備エリアの横をマイクロバスで走行
2. 振り返り
 - └企業見学会の感想を言語化する
3. グループワーク
 - └5つのテーマに沿って自然の大切さを伝えられるお店を考える

■投影や資料配布

第1回のグループワークでみんなが考えてくれた
「自然となかよくできるまち」の意見を
テーマごとにまとめたよ！

■お店を考えるときのテーマ

- ・植物（草・花・木など）の大切さを伝える
- ・いきもの（動物・魚・昆虫など）の大切さを伝える
- ・川や森、林の大切さを伝える
- ・リサイクルの大切さを伝える
- ・住民同士の協力や助け合い、分かち合い、
参加することの大切さを伝える

テーマ：

■なぜこのテーマが大切なのか

■テーマを伝えることができるお店のアイデアを3つ以上考えよう

↓

出店するお店：

メンバー：



IV. 子ども実行委員会記録

■ 実行委員のブーケ製作の様子



■ バスから見たGREEN×EXPO 2027の会場整備エリアの様子



IV. 子ども実行委員会記録

■店舗ごとの「お店のテーマ」について

1班 ミニミニフリーマーケット

テーマ：住民同士の協力や助け合いが大切、参加者ごとの大切さを伝える

■なぜこのテーマが大切なのか

1人ではできないこともたくさんの人と協力するとできると思ふから。

■テーマを伝えることができるお店のアイデアを3つ以上考えよう

- フリマ
- 古本屋
- リサイクルショップ
- お宝たいげん
- ふつつつこうかん

しゅってん みせ
出店するお店：フリマ（フリーマーケット）

2班 なごみ雑貨店

テーマ：リサイクル

■なぜこのテーマが大切なのか

ゴミをリサイクルすればゴミをへらすことができるから。
↓
する前に本当にゴミが考える機会になるから。

■テーマを伝えることができるお店のアイデアを3つ以上考えよう

- しょうみきけんがきれたしょう品のカフェ
- つかわれなくなった物を新しいものにあげる。
- ゴミでしょう品を作る。

しゅってん みせ
出店するお店：リサイクルショップ

2班

3班 宝探しでMidoriを作ろう！

テーマ：川や森、林の大切さを伝える

■なぜこのテーマが大切なのか

- 魚や動物たちがすくやすくなる
- 地球温暖化がよくなるから
- 川から水をひいて農作をする

■テーマを伝えることができるお店のアイデアを3つ以上考えよう

- オセロ
- 宝探し
- マリア
- 会場全体を使いたい
- 体験してもらう

しゅってん みせ
出店するお店：宝探しでMidoriを作ろう！

4班 自然ミュージアム

テーマ：生き物の大切さを伝える

■なぜこのテーマが大切なのか

自然にとって生き物は必要
なそんな自然から

■テーマを伝えることができるお店のアイデアを3つ以上考えよう

- 虫探し
- 魚釣り(海の生き物)
- 貝でアート
- 環境保護活動体験
- 生きものアート(陸・海・空⇒美術館)

しゅってん みせ
出店するお店：美術館

4班

5班 自然と仲良しお花屋さん

テーマ：植物(花・木)などの大切さを伝える

■なぜこのテーマが大切なのか

自然が無くなると人だけでなく他の生き物にも悪影響があるから
GREEN X EXPO といえは「自然」だから植物が一番当てはまると思った

■テーマを伝えることができるお店のアイデアを3つ以上考えよう

- お花屋さん(お花でブーケやブレスレットを作る)
- 身近な木屋さん(竹とんぼなど植物で作った物で遊ぶ)
- 植木屋さん(生け花などをする)

しゅってん みせ
出店するお店：お花屋さん

Ⅳ. 子ども実行委員会記録

【第4回子ども実行委員会 8月21日（木） 13：00～16：00 @緑区役所会議室】

■参加者

- 子ども実行委員：17名
- 東洋英和女学院大学学生：6名
- 東洋英和女学院大学教員：1名
- 緑区役所区政推進課：2名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：8名

■内容

1. 第3回の振り返り
 2. アルバイトチラシの作成
 3. お店ごとに必要なものの製作
- 1班 各班に寄付のお願い



■2班 商品の製作



■3班 ゲームの備品の製作



■4班 展示物の製作



■5班 商品の製作



【第5回子ども実行委員会 8月28日（木） 14：00～17：00 @緑公会堂会議室】

■参加者

- 子ども実行委員：19名
- 東洋英和女学院大学学生：3名
- 東洋英和女学院大学教員：2名
- 緑区役所区政推進課：2名
- 株式会社セレスポ 横浜支店：8名

■内容

1. お店ごとに必要なものの製作（前回の続き）

V. イベント当日

	前日(9/6)	当日(9/7)				
		全体スケジュール	スタッフ			
7:00			施工・運営スタッフ	実行委員・東洋英和ボランティア	協力企業	主催者
7:30						
8:00			8:00区役所 集合	8:00区役所 集合		8:00入り 各確認
8:30			ミーティング・準備	ミーティング・準備	8:45区役所 集合・準備	
9:00		9:00開館・スタンバイ				
9:30		第1部受付 9:15-9:45				
10:00	【会場設営・準備】 (9:00-17:00)		9:00～12:30 子どものまち 運営サポート業務	9:00～12:30 子どものまち 運営	9:00～12:30 子どものまち 運営	
10:30		第1部 開催				管理業務
11:00		9:30-12:30		※休憩、昼食など 交代で取得		
11:30	映像 関係 設営					
12:00						
12:30						
13:00		第2部準備/13:00スタンバイ				
13:30		第2部受付 13:15-13:45				
14:00	協力企業 ブース 設営		13:00～16:30 子どものまち 運営サポート業務	13:00～16:30 子どものまち 運営	13:00～16:30 子どものまち 運営	
14:30	実行 委員 ブース 設営	第2部 開催		※休憩、昼食など 交代で取得		
15:00		13:30-16:30				
15:30						
16:00						
16:30						
17:00			(16:00～) 撤収・かたづけ	(16:00～) かたづけ	(16:00 ～) かたづけ	
17:30						
18:00						
18:30						
19:00						

V. イベント当日

□コンテンツごとのスケジュール

	全体スケジュール	受付	ライブ配信	大人説明会	税金アナウンス
9：00					
9：10					
9：20		第1部受付 9:15-9:45			
9：30	第1部 開催 9:30-12:30				
9：40					
9：50					
10：00					●
10：10					
10：20					●
10：30					
10：40					●
10：50			4班 発表 5分 中継 5分		
11：00				大人説明会①	
11：10					●
11：20					
11：30			1.3.5班 発表 各5分 中継 各5分		
11：40					
11：50				大人説明会②	
12：00					●
12：10			2班 発表 5分 中継 5分		
12：20					
12：30					
12：40					
12：50					
13：00					
13：10					
13：20		第2部受付 13:15-13:45			
13：30	第2部 開催 13:30-16:30				
13：40					●
13：50			4班 発表 5分 中継 5分		
13：00					
14：10					●
14：20					
14：30			1.3.5班 発表 各5分 中継 各5分		
14：40					
14：50				大人説明会①	●
15：00					
15：10			2班 発表 5分 中継 5分		
15：20					●
15：30					
15：40			企業 発表 各5分 中継 各5分		
15：50					
16：00				大人説明会②	
16：10					●
16：20					
16：30					

V. イベント当日

□ イベント参加の流れ及び基本事項

参加者	行動
① 受付	・公会堂 2 階ホワイエの受付で、 区民証とミ\$、パンフ を受け取る



② 学校で まちの仕組 みを学ぶ	・公会堂 2 階ホワイエの 学校 で、 「子どものまち」の仕組みを学ぶ
------------------------	---



③ 銀行・税 務署へ行き、 納税する	・ホール内の 銀行・税務署 へ行き、 税金 （環境税）を納税する ※納税をしなければ、まちで遊ぶこ とが出来ない
--------------------------	---



④ ジョブセン ターへ行き、 仕事を探す	・ホール内の ジョブセンター へ行き、 仕事を探してそのお店のジョブスト ラップを受け取る ・もしくは残ったミ\$ で遊ぶ
----------------------------	---



⑤ こどものま ちのお店で働 く	就業先のお店で、こども実行委員 の指示のもと働く ※ 1つの仕事は20分間程度
------------------------	--



⑥ 銀行で給 料をもらう	・ホール内の銀行へ行き、給料を 受け取る ※ジョブストラップは銀行付近の BOXへ返す
-----------------	--



⑦ ミ\$ を使って子どものまちで遊んだりショッピング	
-----------------------------	--

・イベントの参加は定員制、申込制の為申し
込みの確認を行う

申込確認 方法	名簿の確認は区役所職員 にて行う 配布物はセレスポにて行う
------------	-------------------------------------

・「子どものまち」に関する仕組みをレクチャー
する

レクチャー 進行	セレスポスタッフにて説明
-------------	--------------

・各お店は子ども実行委員が運営する
・勤務終了後は、実行委員が区民証の裏に
あるジョブカードに給料を記入する

・開催時間中は④～⑦を繰り返し行える

・午前の営業終了後、各お店は法人税とし
て、売り上げの10%を税務署へ納税する
※午後は納税の必要なし

■ 募集概要

- ・お店や協力企業、大学ブースでアルバイト募集を行うこと。
- ・所定のフォーマットはなく、自由にデザインした求人チラシを作成すること。
作成に当たっては、以下の「求人チラシ作成概要」を参考にする。
- ・求人チラシはイベント当日ジョブセンターに持っていくこと。
- ・終了した求人はジョブセンターへ速やかに伝えること。

■ 求人チラシ作成概要**【用紙仕様と記載方法】**

- ・A4サイズ（縦）
- ・所定のフォーマットがないため、デザインなどは自由に作成すること。
- ・用紙の色も自由。分かりやすいようはっきり大きく記載すること。
また、難しい漢字にはフリガナを振ること。
- ・イラストをデザインしてもよい。

【募集記載要件】

- ①お店の名前またはブース名
 - ②対象年齢（あれば）
 - ③アルバイト時間（20分程度）と内容および募集人数
 - ④アルバイト給料（20分で30ミ\$ がまちのベース）
- ※可能であれば1回転で8名程度の受け入れを検討すること。

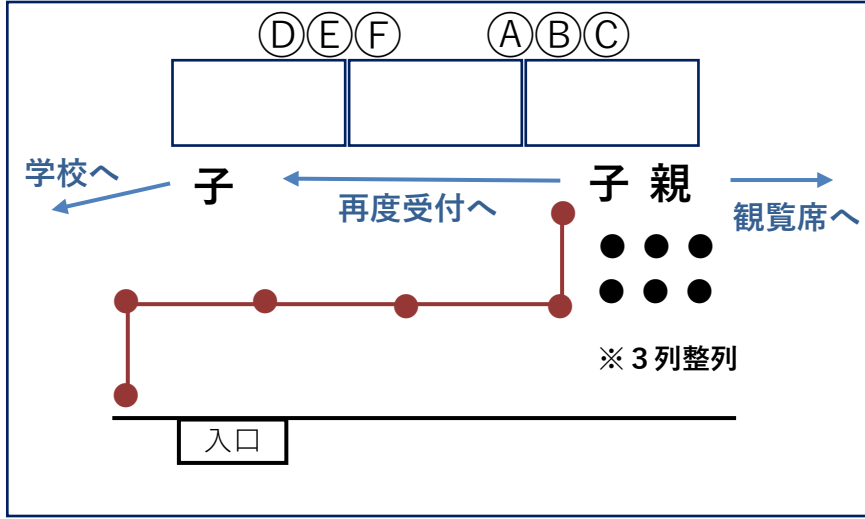
■ その他のアルバイトルール

- ・アルバイトの時間は20分程度。
 - ・アルバイトの給料は20分で30ミ\$ をベースとして考えること。
また、5.10.15.20ミ\$ で支払える数字とすること。
 - ・アルバイトでの危険な作業行為は禁止。
 - 熱のあるもの（臭気を伴うもの）
 - 刃を伴うもの
 - 尖ったもの
 - 長時間の立ち仕事や体力を消費させるもの
 - 20分間の単純作業や体温変化をきたすものなど
- ※求人内容によりアルバイト内容の変更を相談する場合あり。

■受付（1部 9：15～9：45、2部13：15～13：45）

□配置

受付



ⒶⒷⒸ：区役所職員

ⒹⒺⒻ：セレスポ

●●●：ベルトパーテーション

□手順

①事前申し込み名簿リストと照合

②大人の方にチラシ（A3、2つ折り）と配布物（不織布バッグ）、
また入場希望の大人の方のみリストバンドを渡す

ⒶⒷⒸ

③参加人数のカウント

受付した人数をカウンターで数える。

④区民証と50ミ\$のお渡し

参加者（子ども）に対し、「区民証」と
初期資金50ミ\$をお渡しする。

※区民証の裏はジョブカード

ⒹⒺ

Ⓕ

⑤チラシのお渡しと説明

参加者（子ども）に対し、チラシ（A3、2つ折り）をお渡しする。

チラシの裏面を見せながら、

学校が終わったら、銀行・税務署へ向かうことを伝える。

⑥受付後の移動先

参加者（子ども）→隣接する「学校」で待機

保護者（大人）→観覧席へ移動（2階もしくは3階からも進入可能）

□その他業務

・受付業務終了後、出入口付近にミ\$ 寄付ゾーンを設営

・第1部終了後、各店の寄付額を数えて、メモ 及び 午前のみ銀行スタッフに伝える

■ 概要

参加者（子ども）に対し、イベントの楽しみ方をフリップを使用し説明する。
説明が一通り終わった後は、参加者の休憩所 及び 大人説明会の場所となる。

■ 人員体制

セレスポススタッフ・・・3名

■ 業務内容

□「子どものまち」の説明

- ・20名程度の参加者（子ども）が集まったら、フリップを使用して、まちのルールを説明する。
- フリップは2式あるので、2カ所に分かれて実施。
- ※受付時間中は、「4班 自然ミュージアム」の場所を借りる。

□大人説明会（イベントの楽しみ方-大人版-）

- ・参加者の保護者に対して、「子どものまち」の説明 及び GREEN×EXPO 2027の開催背景や取り入れた趣旨等を説明する。
- ・各回10分程度を予定（1時間に1回開催、適宜開催のアナウンスを入れる）。

■ 概要

税金の徴収とアルバイト代等の支払いを行う。

■ 人員体制

セレスポスタッフ・・・3名

■ 業務内容

□ 税金の徴収

- ・環境税：入場時に、1人5ミ\$ 徴収する。
徴収したら、区民証にスタンプをおす。
- ・法人税：午前終了時に、売り上げのでているお店から、売上額の10%を納めてもらう。
売上額と法人税額は紙に記載して管理する。

□ アルバイト代の支払い

- ・区民証の裏のジョブカードに記載してあるアルバイト代を支払う。
また、アルバイト代を支払ったら、ジョブカードの「確認欄」に✓を書く。

□ アンケート回答者への支払い

主催者が実施するアンケートに協力した子どもには、お礼に5ミ\$を渡す。
区民証の空いているスペースに㊦のマークを書いた子どもが来た場合、5ミ\$を渡すとともに、その横に✓を書く。

□ ジョブストラップの案内

アルバイト代の支払が終わった子どもに、ジョブストラップを銀行横のボックスに返すよう必ず伝える。

■ 概要

- ・アルバイトを希望している参加者に希望の「お店」の紹介と募集・求人管理。
- ・チラシの下にジョブストラップをぶら下げておき、希望するお店のジョブストラップを取って、アルバイト先に向かってもらう（ジョブストラップが無ければ、バイト枠がないということになる）。
- ・アルバイト終了後「ジョブストラップ」は、銀行付近にある返却BOXに必ず返却してもらう。随時BOXを確認し、「ジョブストラップ」を回収する。

■ 人員体制

セレスポスタッフ・・・3名

■ 業務内容

【ジョブボード（アルバイト求人チラシ貼り出しの管理）】

- ・ホワイトボードへの募集チラシの貼付管理（募集チラシは各お店で作成済）。
- ・イレギュラーとして当日発生した募集のアルバイトについては、所定事項を記入してもらい、ジョブボードに掲出。
 <記入所定事項>
 - ①店名
 - ②アルバイト内容
 - ③アルバイト時間
 - ④アルバイト代
 - ⑤アルバイト人数
- ・主催者が実施するアンケート調査員募集のアルバイト求人チラシは、第1部では10時から、第2部では14時から掲示する。
- ・学校の「説明会の呼び込み」アルバイト求人チラシは、10：30～12：00、14：20～16：00の間のみ掲示する。

【ジョブストラップ】

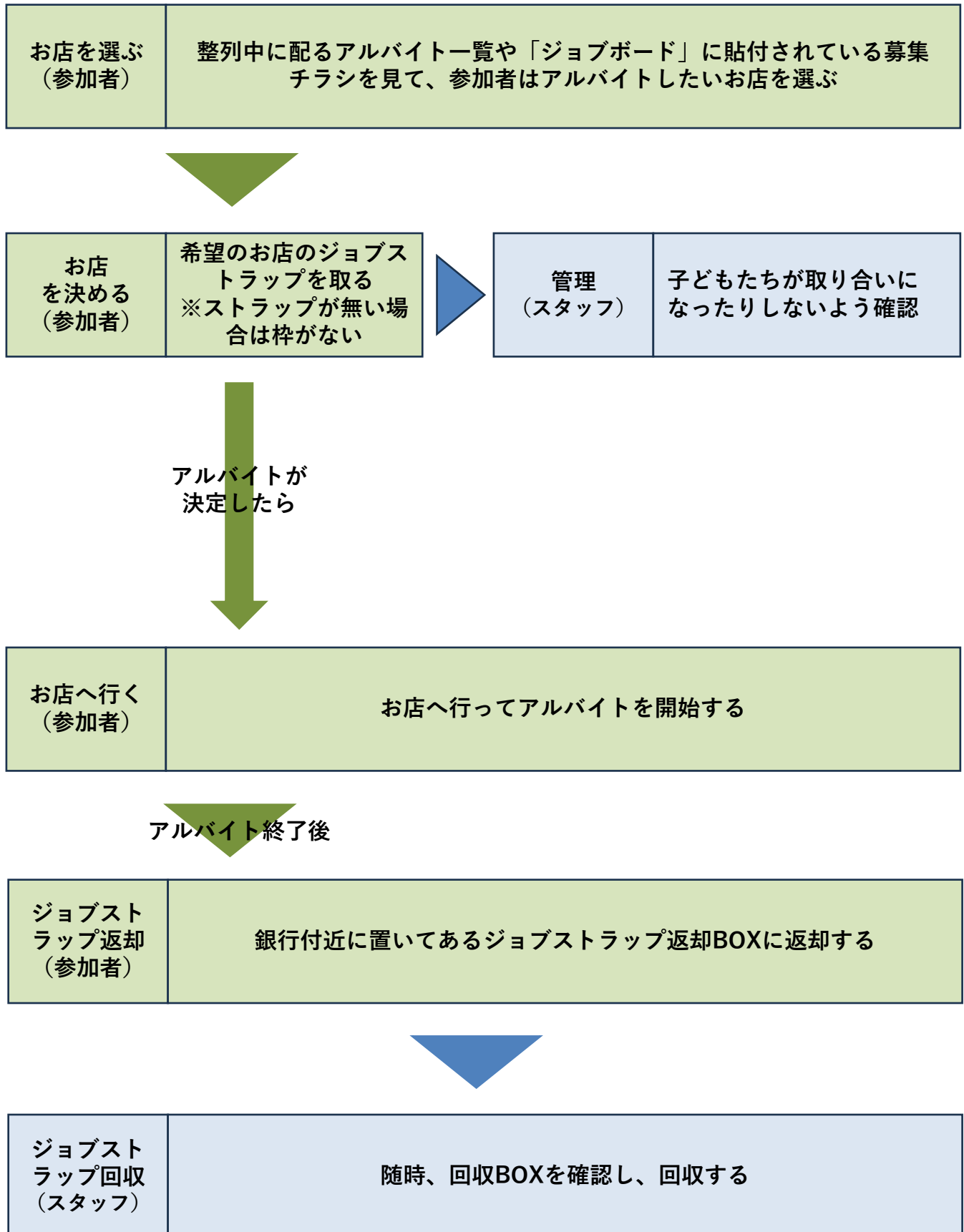
- ・アルバイトを行う参加者が持って行っているか必ず確認し、アルバイト中は着用するよう伝える。
- また、アルバイト終了後は必ず銀行付近の返却BOXへの返却を周知する。

【アルバイト求人チラシ（募集の終了）の収納】

- ・イベント終了20分前になったら、募集チラシを貼ったボードを裏返し、募集を終了する。



■参加フロー



■ 概要

- ・納税された環境税によって、「子どものまち」の環境が良くなっていくということを下記のグラフにて可視化 及び 公会堂内アナウンスで周知する。
- ※実際にイベント内で変化するわけではなく、進化したと仮定する。

■ 人員体制

説明……………学校
 グラフの管理……………銀行・税務署
 アナウンス……………子ども実行委員

■ 業務内容

【説明】

- ・学校の最初のルール説明中に、環境税によってまちの環境を良くしていく取組ができる、という旨を説明する。

【グラフの管理】

- ・タイムスケジュールに沿って、取組内容を貼っていく。

【アナウンス】

- ・タイムスケジュールに沿って、取組内容を発表する。

● 午前

- 10：00 1班 ポスターを掲示する
 10：20 2班 まちにごみ箱を設置する
 10：40 3班 まちの清掃員を雇う
 11：10 4班 環境ボランティア団体を支援する
 12：00 5班 環境整備に必要な施設を建てる

● 午後

- 13：40 5班 子どもがいる家庭に支援金を配る
 14：10 4班 リサイクル業者に補助金を出す
 14：50 3班 海のごみを回収する
 15：20 2班 木や花の手入れをする
 16：10 1班 のこり食材を使ったレシピをつくる



■ 概要

- ・「人と自然が仲良く暮らせるまちってどんなまち？」をテーマに、来場者が思い描く未来の幸せな風景を葉の形をした付箋に書いて、貼っていただくことで、木を完成させる。

■ 人員体制

3階の誘導スタッフが適宜対応

木 1800×1800

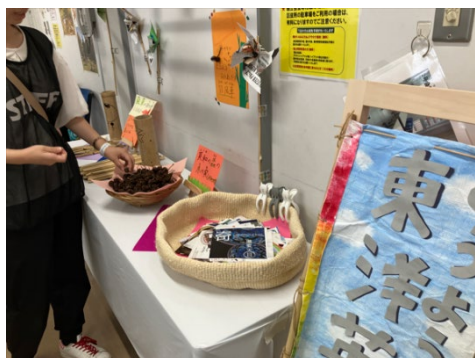


付箋 90×70



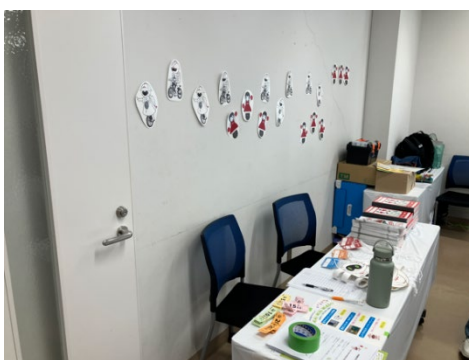
■ 東洋英和女学院大学「『森のかざぐるま』づくり」

- ・実施場所 公会堂 3 階 会議室
- ・実施内容 竹を素材としたワークショップを実施



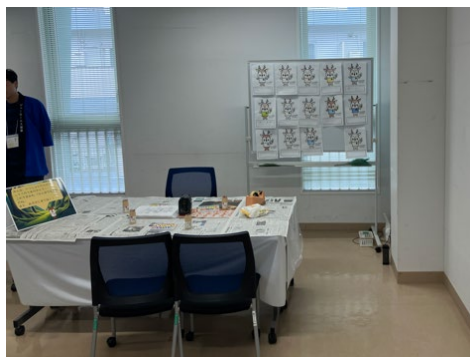
■ 村田製作所

- ・実施場所 公会堂 3 階 会議室
- ・実施内容 太陽光で動くオルゴールを製作できるワークショップ等を実施

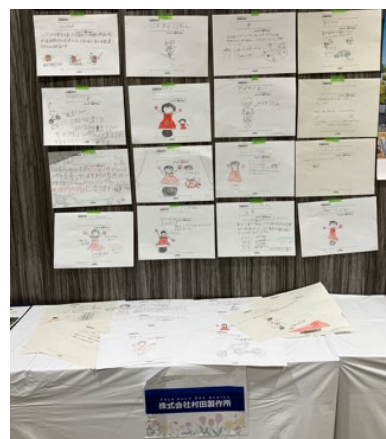


■ ジェーピーエス製薬株式会社「ジェイクんとかんぼうのもり」

- ・実施場所 公会堂 3 階 会議室
- ・実施内容 木のみを触ったりにおいをかいだりするスタンプラリーを通して漢方について知ることができるワークショップを実施



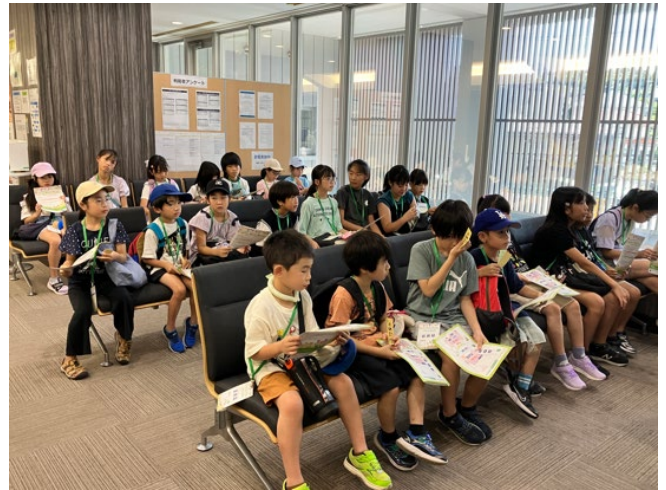
■ 企業展示ブース



■ 入場・受付



■ 学校



■ ジョブセンター



■ 銀行・税務署



■ 1班 ミニミニフリーマーケット



■ 2班 なごみ雑貨店



■ 3班 宝探しでMidoriを作ろう！



■ 4班 自然ミュージアム



■ 5班 自然と仲良しお花屋さん



■ GREEN×EXPO 2027 PRブース



■ 会場内風景



■ 実行委員取組展示コーナー



■ 実行委員取組内容の動画放映



■ 実行委員の取組内容の動画放映・中継（当日のまちの様子）



■ みんなでつくる幸せの木



■ 会場内風景



■ 山中横浜市長視察



■ ミ\$ 寄付（イベント参加者退出時）



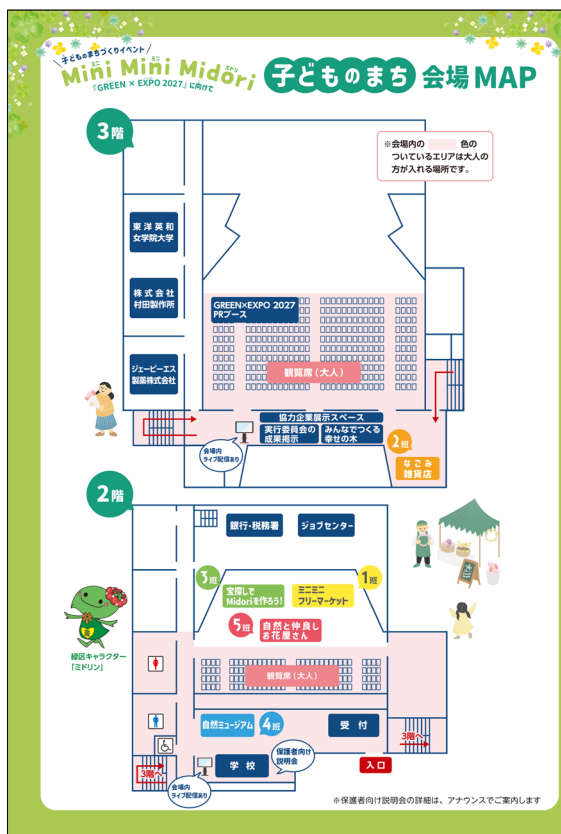
■ 終了挨拶・集合写真



■開催後掲示（10月14日～17日 緑区役所1階イベントスペース）

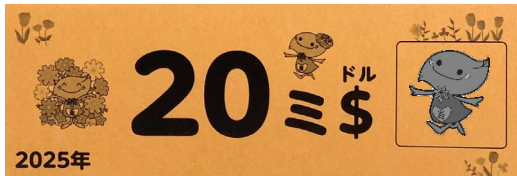
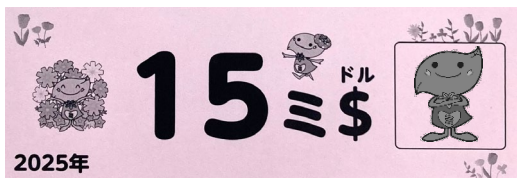
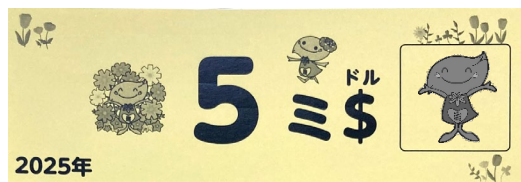


□当日配布パンフレット



VI.製作物

□ミ\$



□区民証・ジョブカード・ジョブストラップ



□サインデザイン

■ステージタイトル看板(紙出力) W4100xH620 ※20倍出力



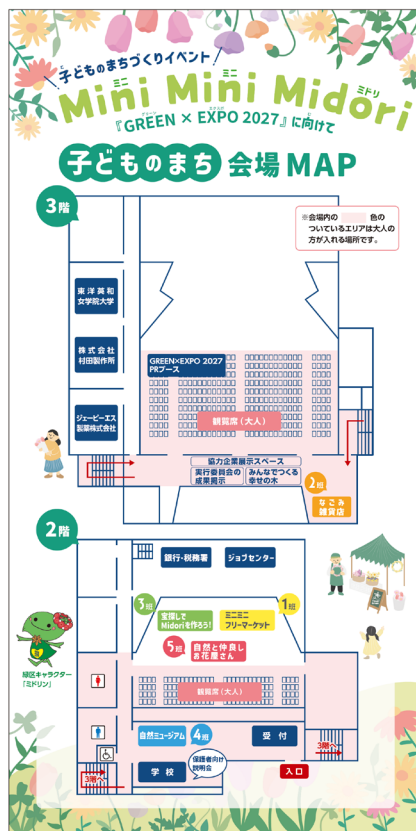
■入口タイトル看板(紙出力) W900xH1800 ※10倍出力



■会場外誘導立看板 W900xH1800 ※10倍出力



■会場案内図立看板 W900xH1800 ※10倍出力



■1800x1800 ※20倍出力



■受付(ステレン) W600xH600 ※10倍出力



VI.製作物

□サインデザイン

■店舗看板(スチレン) W1200xH600 各1枚 計9枚 ※15倍出力



■誘導(スチレン) W450xH450 ※10倍出力



x2



x2



※矢印現地貼り x2



※矢印現地貼り x2



※矢印現地貼り

■A3(紙出力) 企業ワークショップ
※10倍出力



VII. アンケート

□ 大人アンケート結果

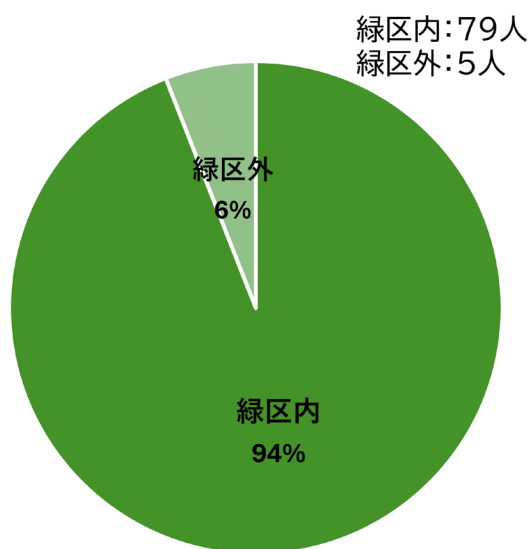
■ 回答者数

1回目:40人

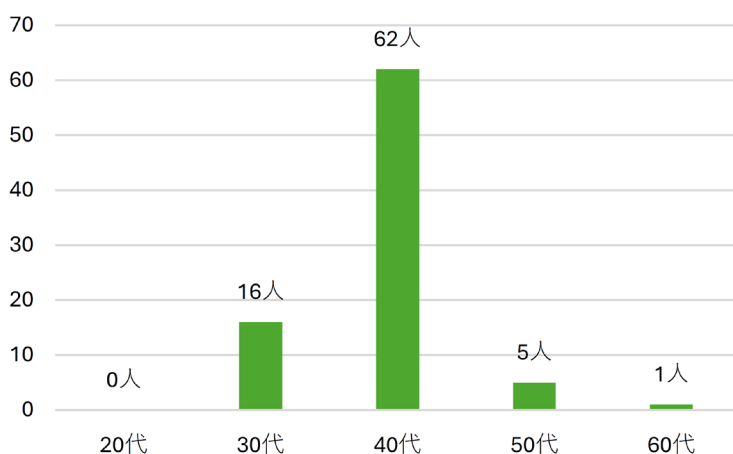
2回目:44人

合計:84人

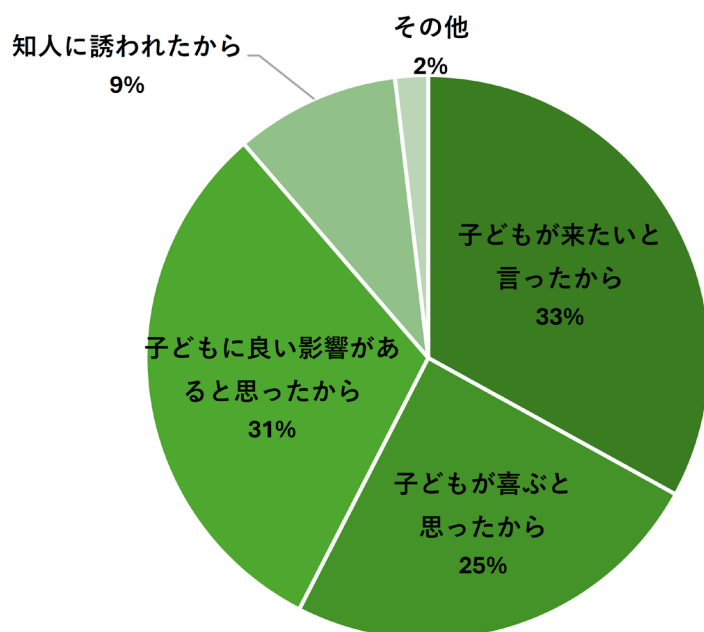
1 お住まいについて



2 年代について



3 子どもを参加させたいと思った理由を教えてください(複数回答可)



子どもが来たいと言ったから:35人
子どもが喜ぶと思ったから:26人
子どもに良い影響があると思ったから:33人
知人に誘われたから:10人

VII. アンケート

□ 大人アンケート結果

4 イベントの良かった点を教えてください(抜粋)

- ・一人でも楽しめること
- ・社会の仕組みを学ぶ事ができて良い経験になったと思う
- ・使わなくなった文具のお店があり、リユースの観点からとてもよいと思った
- ・子どもが楽しむだけでなく、誰かのために買おうという思いやりも育つ
- ・まちの運営が本格的でよかったです。
- ・子ども達が自ら動く、考えるきっかけ、自信になると思う
- ・大人が口出しできない状況のところを見ることができたところ
- ・親も入ることができること
- ・子どもが普段知る機会が少ない、税や働いてお金を稼ぐことを知れた点
- ・普段できない体験ができていいと思う
- ・親と離れて自分で考える力が身に付く点
- ・子ども達だけで考えて、社会の仕組みを理解できてよかった

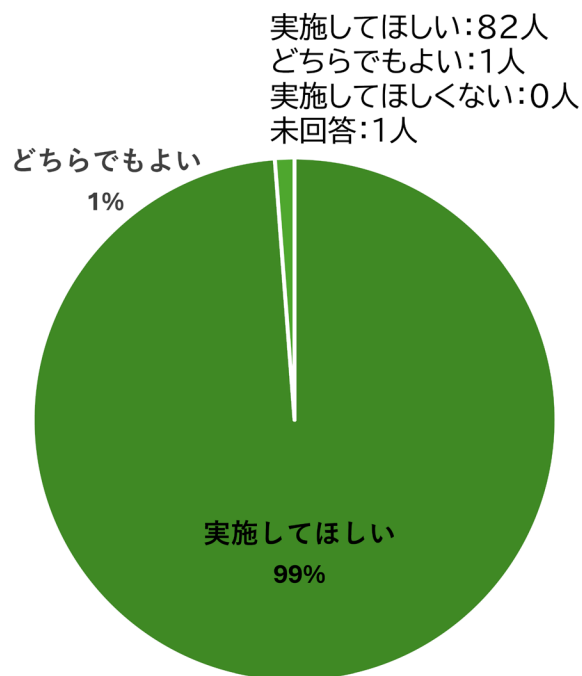
5 イベントの改善点があれば教えてください(抜粋)

- ・ジョブセンターの待ち時間が長く感じた。2か所にするとか、待ち時間を表示させるアルバイトもあっていいと思う。
- ・スタート時点でジョブセンターに行列ができてしまい、お店がガラガラだったので、その点の改善。
- ・ジョブセンターの混雑で並ぶ時間がもったいないかなと思った。人員を増やせたら良いかもです。
- ・大人が様子すらみれないブースがあるのは残念
- ・地図が子どもにはわかりにくいようだった
- ・何をすべきか迷っている子に声をかけるお仕事があればいいと思う
- ・様子を会場にプロジェクターでうつしてくれたらうれしい
- ・全体を1つの会場で見たい
- ・大人も見れる範囲が広がるとより知れて良い
- ・お仕事の時間が少し長いかも
- ・説明不足で初めての子どもが困っていた
- ・スタッフのフォローをもう少し多く
- ・体育館のような平らなスペースでやることが望ましい
- ・もっと広いところで
- ・売上や税収が見られるダッシュボードがあるとなおよい

VII. アンケート

□ 大人アンケート結果

6-1 来年も「Mini Mini Midori」を実施してほしいと思いますか

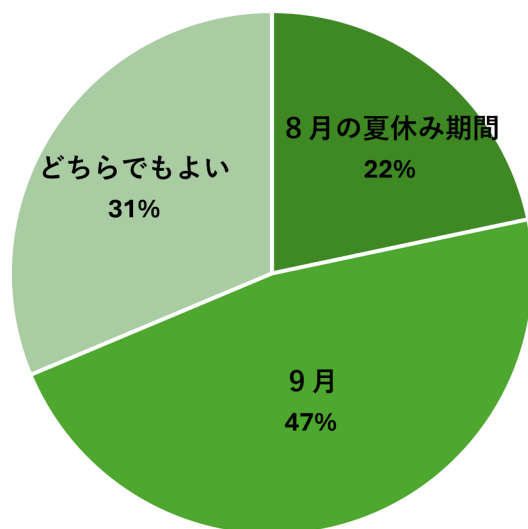


6-2 来年も「Mini Mini Midori」を実施してほしいと思いますか(理由・抜粋)

●「実施してほしい」の理由

- ・楽しそうなイベントなので、子どもがいきいきとしていた
- ・子どもが毎年楽しみにしている
- ・子どもが自分で考え、動くことができているため
- ・仕事を選んで働き、その報酬で買い物をするシステムを楽しい活動の中で学べるのはとても良いと思うから
- ・まちのことを知る良いきっかけになるから
- ・見ず知らずの人と関わりを持てるから
- ・自分で考え、行動する経験や社会性を養えるから
- ・子どもにお金を稼ぐとはどういうことか教えてほしい
- ・子どもの成長につながる

7 イベントの実施時期について、8月の夏休み期間と9月に実施するのどちらが参加しやすいですか。

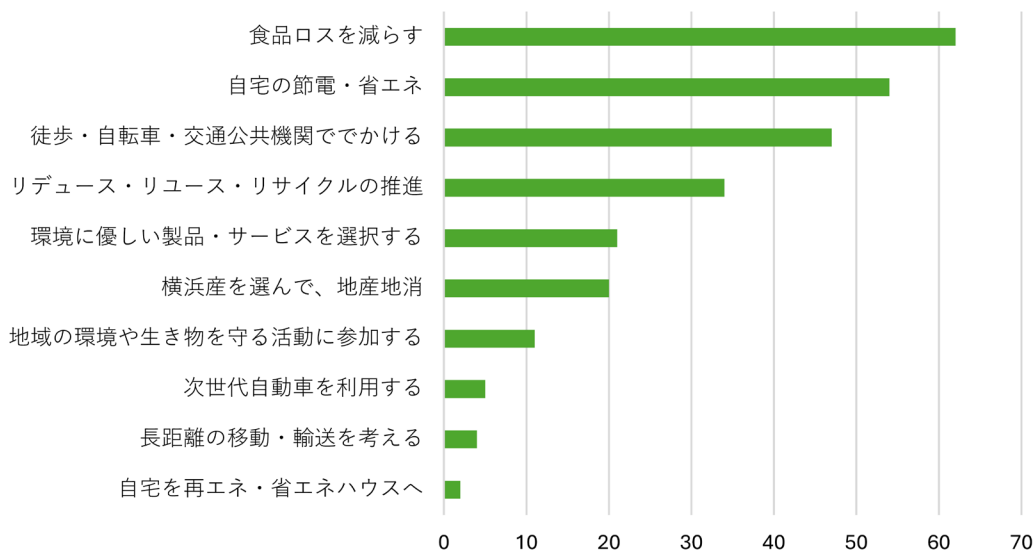


8月の夏休み期間: 18人
9月: 39人
どちらでもよい: 26人
無効回答: 1人

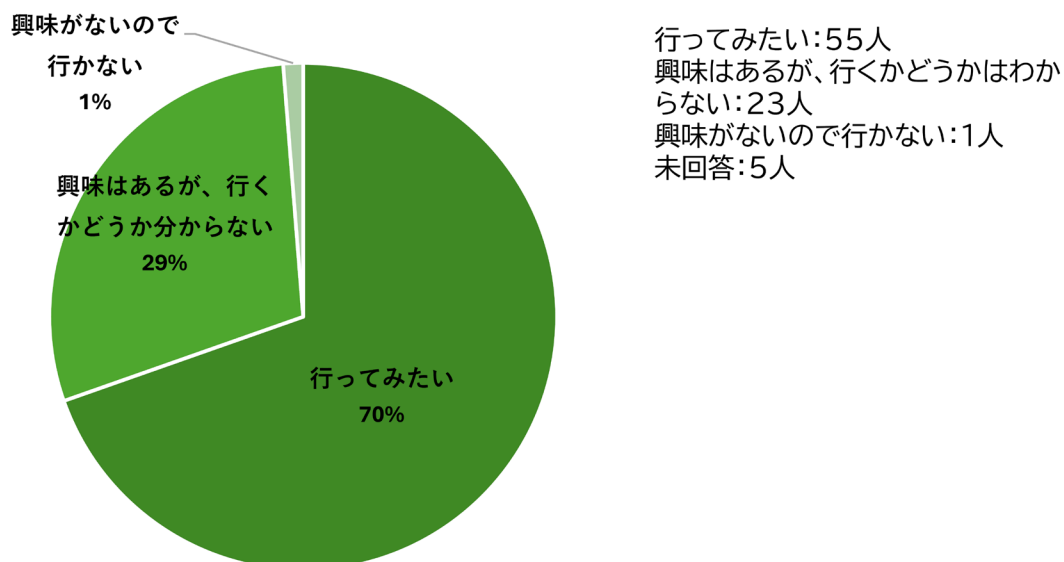
VII. アンケート

□ 大人アンケート結果

8 あなたが普段の生活の中で取り組んでいる環境にやさしい行動について、当てはまる番号に丸をつけてください(複数回答可)



9 本イベントを通して、「GREEN×EXPO 2027」に実際に行ってみたいと思いましたか



VII.アンケート

□子どもアンケート結果

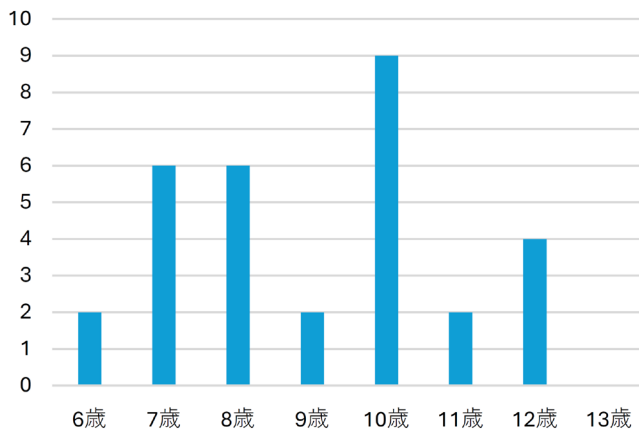
■回答者人数

1回目:7人

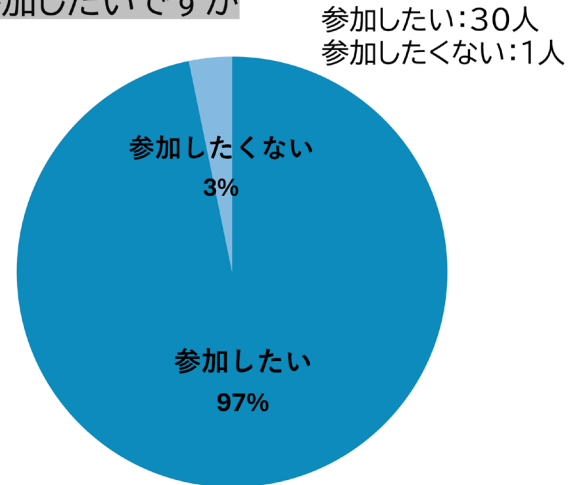
2回目:24人

合計:31人

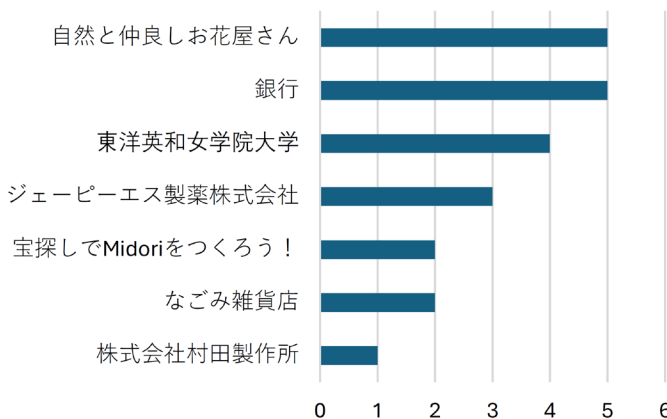
1 あなたは何歳ですか



2 来年もミニミニミドリに 参加したいですか



3-1 面白かったお仕事を教えてください



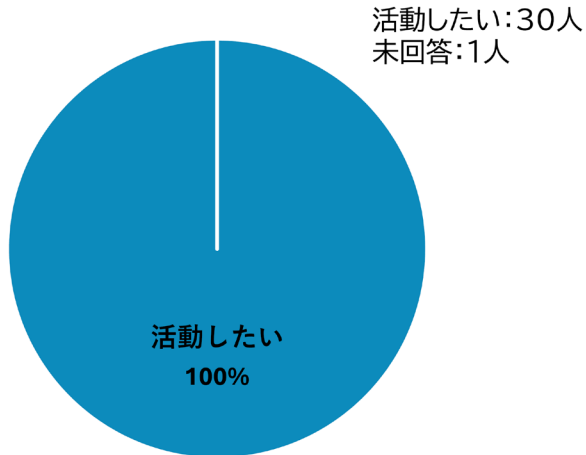
3-2 面白かったお仕事を教えてください (理由・抜粋)

- ・いろいろな人と関われたから
- ・かわいい花があるから
- ・おもしろかったから
- ・宣伝するのがたのしかったから。
- ・お金を計算して渡すのがたのしかったから
- ・自分の好みのお花が作れるから
- ・みんなを呼び込むことができたから
- ・商品を作るのがたのしかった
- ・幸せな時間を過ごせたから
- ・みんなをよぶことができた

VII. アンケート

□ 子どもアンケート結果

4-1 将来みんなが住むまちをよくするための活動をしたいですか



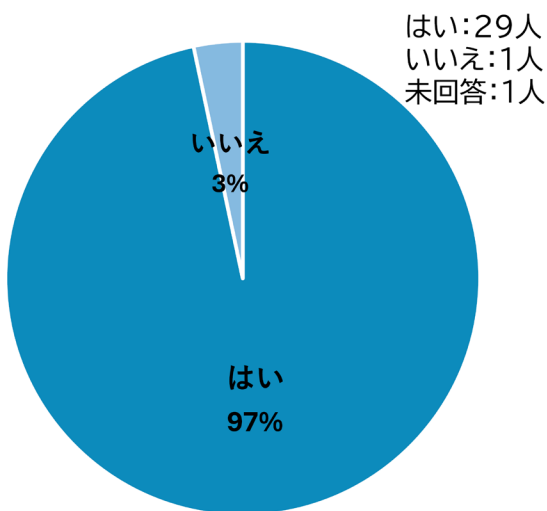
4-2 理由を教えてください(抜粋)

- ・将来のためにしたいと思ったから。
- ・まちがよくなれば自分も住みやすくなるから
- ・みんながしっかりリサイクルするようにしたいから
- ・まちがきれいになるから
- ・よりよくするとみんな笑顔
- ・みんなが住みやすいまちにしたいから
- ・住みやすくするとみんながきもちいい
- ・環境の勉強をしているから
- ・環境がよくなるから

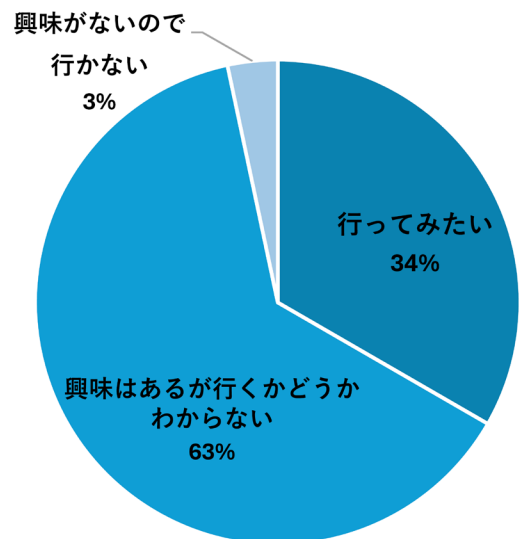
5 将来の夢やあこがれるお仕事があれば教えてください(抜粋)

- ・獣医
- ・学校の先生
- ・画家
- ・お花屋さん
- ・芸能界
- ・スポーツ選手
- ・パティシエ
- ・医者
- ・エンジニア
- ・トリマー
- ・植物や生き物とかかわれる仕事

6 今日のイベントで感じたことや学んだことをおうちの人、近所の人、お友達に話したいと思いますか。

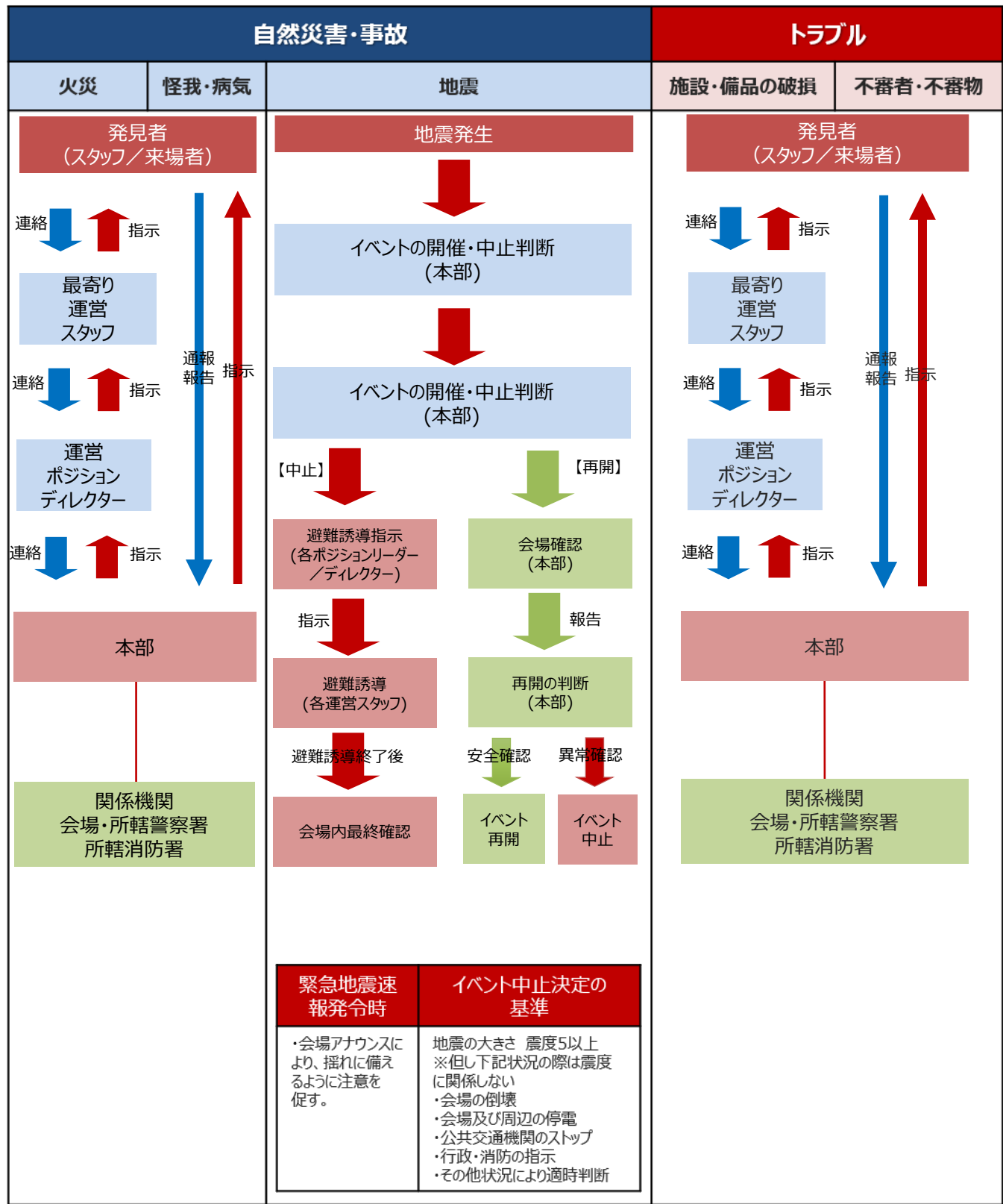


7 今日のイベントを通して、「GREEN×EXPO 2027」に実際に行ってみたいと思いましたか。



行ってみたい:10人
興味はあるが行くかどうか
わからない:19人
興味がないので行かない:1人
未回答:1人

緊急時連絡・指示系統



□避難誘導に関する基本要領

●避難誘導の実施

各スタッフは、担当するエリアにおける火災などの危機事案が発生した場合に自らのエリア外への避難誘導を実施する。

また、協力要請がある場合、または緊急事態で応援の必要がある場合には、担当エリア外において避難誘導を実施する。

●避難誘導の種別

避難の種別は部分避難および全体避難とする。

①部分避難

会場などの一部で危機事案が発生し避難誘導を必要とする場合には、運営本部の指示のもと避難所への誘導を行う。

原則として会場、諸室で危機事案が発生した場合、会場内の所定の位置に避難させた後、会場外へ避難誘導を行う。

②全体避難

会場全体の避難を必要とする場合には、運営本部の指示により一時的に会場内の所定の場所に避難させた後、会場外へ避難誘導を行う。

●避難誘導の方法

①危機事案が発生した場合、運営本部より避難場所、避難経路の指示を受ける。

②スタッフは拡声器などを積極的に活用し、避難すべき理由、避難場所、避難経路を広報する。

③スタッフを避難の際に雑踏が想定される階段などに配置し、群衆雪崩などの雑踏事故が発生しないように警戒する。

④スタッフは運営本部からの指示を聞き行動するだけでなく、積極的に周囲の状況を運営本部に報告する。状況の変化があった場合逐次報告する。

⑤担当エリアの避難完了を確認の上運営本部へ報告を行い、まだ避難の済んでいないエリアの応援にあたる。

●避難誘導実施時の留意事項

①避難誘導にあたっては人命の安全確保を第一として行動する。

②危機事案発生現場付近を最優先に避難誘導を行う。

③広報活動を行うスタッフも声に焦りや緊張感、声の裏返りなどがあると、来場者は危険が身近に迫っているかのように誤解し、予期せぬ行動をとる。そのため広報を行う際はー

i 冷静な音声と通常の手で広報を行う。

ii 現在の状況を明確に伝える。

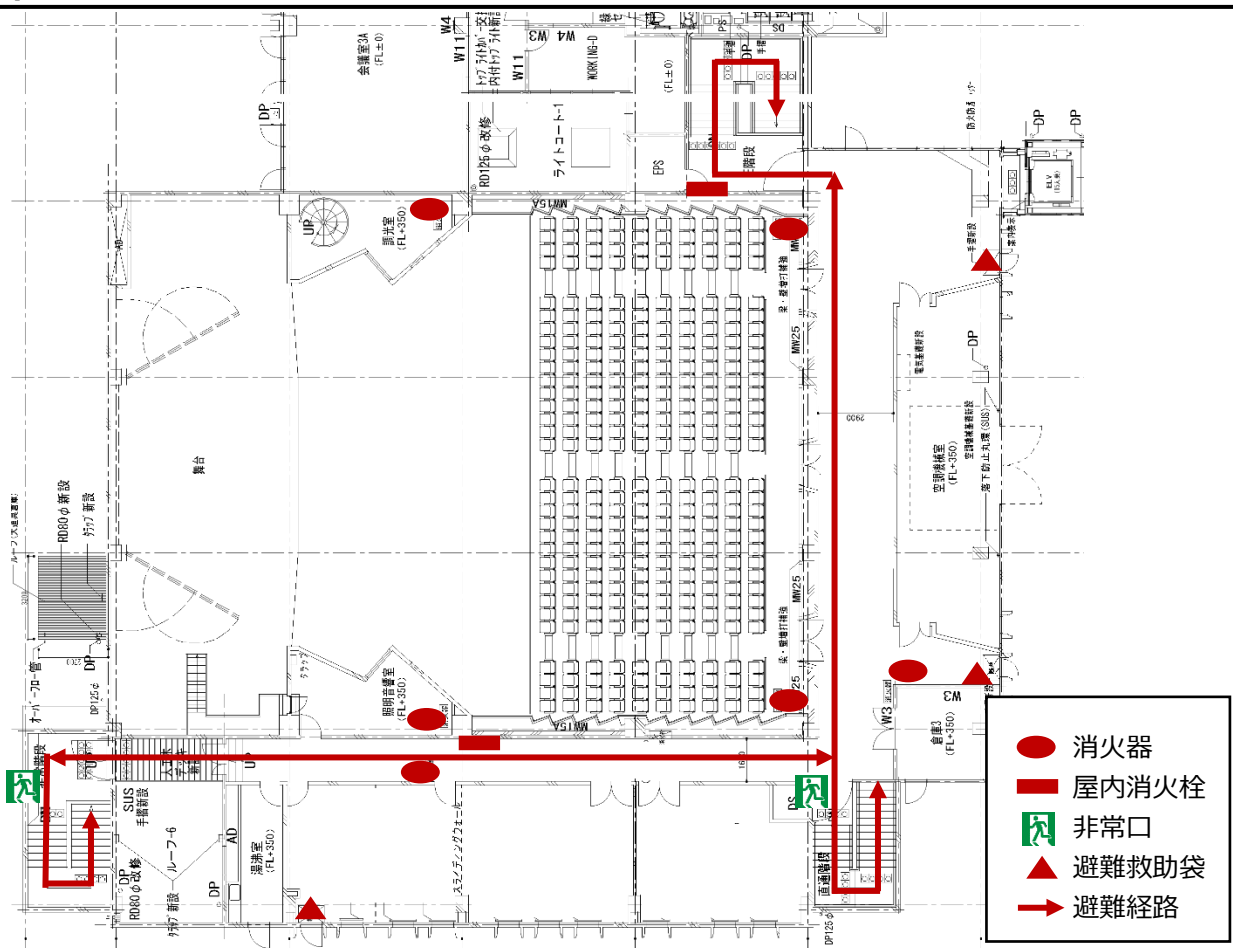
iii わかりやすい言葉を使う。

iv 短文で繰り返し行う。

v 避難誘導を行う際は、現在地からの具体的な方向、経路などを伝える。

避難経路

3F



2F

